

大阪市の推計人口年報（令和2年）

～令和2年10月1日現在の推計人口と1年間の人口異動の動向～

令和4年3月

大 阪 市

目 次

1	人 口 総 数	1
2	男 女 別 人 口	1
3	世 帯 数	2
4	区 別 人 口	2
5	区 別 世 帯 数	5
6	人 口 異 動	7
7	年 齢 別 人 口	12

《利用上の注意》

・推計方法について

推計人口（毎月1日現在）は、平成24年7月までは、「住民基本台帳」及び「外国人登録」の月々の増減を国勢調査結果の人口に加減して算出し、平成24年8月以降は、外国人住民が住民基本台帳に含まれることから、「住民基本台帳」の月々の増減を加減して算出している。本資料では平成28年から令和元年については令和2年国勢調査結果により遡及して修正した推計人口を用いており、令和2年は令和2年国勢調査結果を用いた。

・人口異動について

推計人口においては、出生と死亡の差を自然動態（自然増減）とし、転入と転出の差にその他の増減を加減したものを社会動態（社会増減）とした。その他の増減とは、実態調査や帰化等及び国籍喪失等による職権記載・消除者数である。転入、転出は市内の区相互間を含んでいる。

人口異動の自然増減率、出生率、死亡率、社会増減率、転入率、転出率は、前年10月1日現在の人口1000人に対する割合（千分比）である。※ 単位：‰（パーミル）

・年齢別人口について

年齢別人口は、平成24年7月までは、国勢調査結果の年齢、男女別人口を基準に、「住民基本台帳」及び「外国人登録」の月々の年齢、男女別人口異動を加減して算出し、平成24年8月以降は、外国人住民が住民基本台帳に含まれることから、「住民基本台帳」の月々の年齢、男女別人口異動を加減して算出した。本資料では平成28年から令和元年については令和2年国勢調査結果により遡及して修正した年齢別推計人口を用いており、令和2年は令和2年国勢調査結果を用いた。

1 人口総数

令和2年10月1日の大阪市の人口は275万2412人で、前年（令和元年10月1日）と比べると1万1076人（0.4%）の増加となった。

表1 人口の推移

年次	人口 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)
平成22年	2,665,314	5,518	0.2
23年	2,668,972	3,658	0.1
24年	2,674,154	5,182	0.2
25年	2,678,663	4,509	0.2
26年	2,679,808	1,145	0.0
27年	2,691,185	11,377	0.4
28年	2,702,316	11,131	0.4
29年	2,713,725	11,409	0.4
30年	2,725,855	12,130	0.4
令和元年	2,741,336	15,481	0.6
2年	2,752,412	11,076	0.4

1 太字は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口。

2 国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

2 男女別人口

令和2年の人口を男女別にみると、男性が132万6875人、女性が142万5537人となっている。男女別の人口を令和元年と比べると、男性が4949人（0.4%）増、女性が6127人（0.4%）増とそれぞれ増加している。人口性比（女性100人に対する男性の数）は93.1となっている。

表2 男女別人口の推移

年次	男（人）			女（人）			性比
	増減数（人）	増減率（%）	増減数（人）	増減率（%）			
平成22年	1,293,798	1,848	0.1	1,371,516	3,670	0.3	94.3
23年	1,294,751	953	0.1	1,374,221	2,705	0.2	94.2
24年	1,296,740	1,989	0.2	1,377,414	3,193	0.2	94.1
25年	1,297,931	1,191	0.1	1,380,732	3,318	0.2	94.0
26年	1,297,452	△ 479	△ 0.0	1,382,356	1,624	0.1	93.9
27年	1,302,562	5,110	0.4	1,388,623	6,267	0.5	93.8
28年	1,307,086	4,524	0.3	1,395,230	6,607	0.5	93.7
29年	1,311,137	4,051	0.3	1,402,588	7,358	0.5	93.5
30年	1,315,517	4,380	0.3	1,410,338	7,750	0.6	93.3
令和元年	1,321,926	6,409	0.5	1,419,410	9,072	0.6	93.1
2年	1,326,875	4,949	0.4	1,425,537	6,127	0.4	93.1

1 太字は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口。

2 国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

3 世帯数

令和2年の世帯数は146万9718世帯であり、令和元年と比べると、2万3420世帯（1.6%）の増加となっている。

1世帯当たり人員は減少傾向にあり、令和2年では令和元年の1.90人からさらに減少し1.87人となった。

表3 世帯数の推移

年次	世帯数			1世帯当たり 人員（人）
	（世帯）	増減数（世帯）	増減率（%）	
平成22年	1,317,990	12,351	0.9	2.02
23年	1,324,740	6,750	0.5	2.01
24年	1,332,002	7,262	0.5	2.01
25年	1,338,910	6,908	0.5	2.00
26年	1,345,055	6,145	0.5	1.99
27年	1,354,793	9,738	0.7	1.99
28年	1,375,843	21,050	1.6	1.96
29年	1,397,243	21,400	1.6	1.94
30年	1,419,499	22,256	1.6	1.92
令和元年	1,446,298	26,799	1.9	1.90
2年	1,469,718	23,420	1.6	1.87

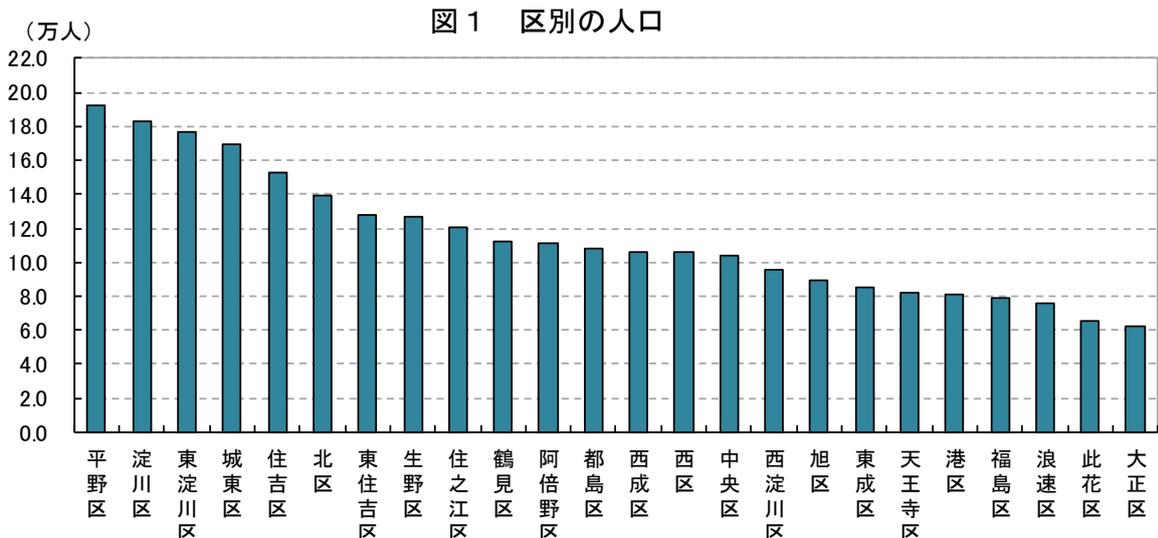
太字は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口による世帯数。

4 区別人口

令和2年の人口を区別にみると、平野区が19万2152人と最も多く、次いで淀川区が18万3444人、東淀川区が17万7120人、城東区が16万9043人、住吉区が15万3056人と続いている。

この1年間の人口増減数を区別にみると、中央区が3129人と最も多く、次いで北区が2936人、西区が2288人など、引き続き市域中心部を中心に増加している一方、平野区が1638人減と最も少なく、次いで西成区が1011人減、生野区が979人減、住之江区が922人減、大正区が706人減と続いている。

人口増減率は中央区が3.1%と最も高く、次いで福島区が2.4%、西区、北区が2.2%など、人口増減数と同様に市域中心部で高くなっている一方、大正区が1.1%減と最も低く、次いで西成区が0.9%減、平野区、生野区、住之江区が0.8%減である。



令和2国勢調査結果による。

表4-1 区別人口

区名	人口 (人)		対前年 (令和元年)	
	令和2年	令和元年	増減数 (人)	増減率 (%)
大阪市	2,752,412	2,741,336	11,076	0.4
北区	139,376	136,440	2,936	2.2
都島区	107,904	107,768	136	0.1
福島区	79,328	77,488	1,840	2.4
此花区	65,251	65,532	△ 281	△ 0.4
中央区	103,726	100,597	3,129	3.1
西区	105,862	103,574	2,288	2.2
港区	80,948	81,115	△ 167	△ 0.2
大正区	62,083	62,789	△ 706	△ 1.1
天王寺区	82,148	80,951	1,197	1.5
浪速区	75,504	74,634	870	1.2
西淀川区	95,864	95,852	12	0.0
淀川区	183,444	181,746	1,698	0.9
東淀川区	177,120	176,758	362	0.2
東成区	84,906	84,279	627	0.7
生野区	127,309	128,288	△ 979	△ 0.8
旭区	89,670	89,939	△ 269	△ 0.3
城東区	169,043	168,546	497	0.3
鶴見区	112,691	112,237	454	0.4
阿倍野区	110,995	110,547	448	0.4
住之江区	120,072	120,994	△ 922	△ 0.8
住吉区	153,056	153,466	△ 410	△ 0.3
東住吉区	127,849	126,884	965	0.8
平野区	192,152	193,790	△ 1,638	△ 0.8
西成区	106,111	107,122	△ 1,011	△ 0.9

1 令和2年は国勢調査による人口。

2 令和元年は令和2年国勢調査結果により修正された10月1日現在の推計人口であり、人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

表 4 - 2 人口増減数（上位 7 区）

順位	平成29年～30年		平成30年～令和元年		令和元年～令和2年	
	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）
1	北区	3,748	北区	3,204	中央区	3,129
2	西区	2,979	西区	2,507	北区	2,936
3	淀川区	1,804	中央区	2,476	西区	2,288
4	中央区	1,665	浪速区	1,712	福島区	1,840
5	福島区	1,478	福島区	1,703	淀川区	1,698
6	東成区	1,172	天王寺区	1,660	天王寺区	1,197
7	天王寺区	844	阿倍野区	1,308	東住吉区	965

表 4 - 3 人口増減数（下位 7 区）

順位	平成29年～30年		平成30年～令和元年		令和元年～令和2年	
	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）
1	西成区	△ 1,047	西成区	△ 1,440	平野区	△ 1,638
2	平野区	△ 932	大正区	△ 839	西成区	△ 1,011
3	大正区	△ 652	住之江区	△ 677	生野区	△ 979
4	生野区	△ 620	此花区	△ 611	住之江区	△ 922
5	此花区	△ 371	旭区	△ 467	大正区	△ 706
6	住之江区	△ 318	平野区	△ 428	住吉区	△ 410
7	旭区	△ 220	港区	△ 230	此花区	△ 281

表 4 - 4 人口増減率（上位 7 区）

順位	平成29年～30年		平成30年～令和元年		令和元年～令和2年	
	区名	増減率（%）	区名	増減率（%）	区名	増減率（%）
1	西区	3.0	中央区	2.5	中央区	3.1
2	北区	2.9	西区	2.5	福島区	2.4
3	福島区	2.0	北区	2.4	西区	2.2
4	中央区	1.7	浪速区	2.3	北区	2.2
5	東成区	1.4	福島区	2.2	天王寺区	1.5
6	天王寺区	1.1	天王寺区	2.1	浪速区	1.2
7	淀川区	1.0	阿倍野区	1.2	淀川区	0.9

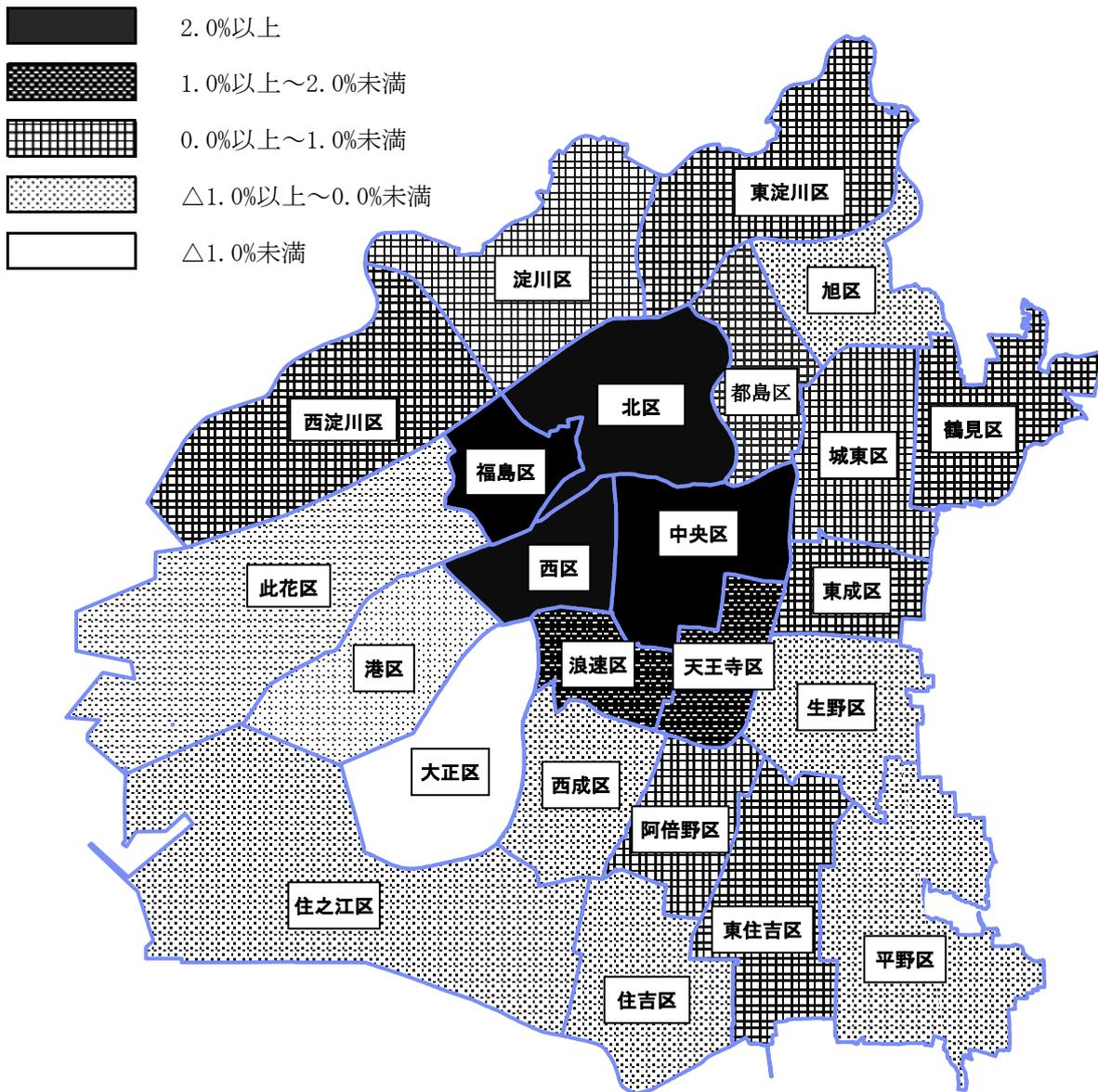
表 4 - 5 人口増減率（下位 7 区）

順位	平成29年～30年		平成30年～令和元年		令和元年～令和2年	
	区名	増減率（%）	区名	増減率（%）	区名	増減率（%）
1	大正区	△ 1.0	西成区	△ 1.3	大正区	△ 1.1
2	西成区	△ 1.0	大正区	△ 1.3	西成区	△ 0.9
3	此花区	△ 0.6	此花区	△ 0.9	平野区	△ 0.8
4	生野区	△ 0.5	住之江区	△ 0.6	生野区	△ 0.8
5	平野区	△ 0.5	旭区	△ 0.5	住之江区	△ 0.8
6	住之江区	△ 0.3	港区	△ 0.3	此花区	△ 0.4
7	旭区	△ 0.2	平野区	△ 0.2	旭区	△ 0.3

1 平成29年・平成30年・令和元年は令和2年国勢調査結果により修正された10月1日現在の推計人口であり、人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

2 令和2年は国勢調査による人口。

図2 区別人口増減率の分布（令和元年～令和2年）



5 区別世帯数

令和2年の世帯数を区別にみると、淀川区が10万4193世帯と最も多く、次いで東淀川区が9万9699世帯、平野区が9万2872世帯、北区が8万5785世帯、城東区が8万2712世帯と続いている。世帯数が最も少ない区は大正区の2万9859世帯で、次いで此花区が3万2318世帯、天王寺区が4万2163世帯と続いている。

この1年間の世帯数の増減数を区別にみると、北区が2561世帯と最も多く、次いで中央区が2495世帯、淀川区が2234世帯、西区が2178世帯と続いており、全24区のうち22区で増加した。

世帯数の増減率では、中央区が3.9%と最も高く、次いで西区が3.5%、北区が3.1%、福島区が2.8%と、市域中心部で高くなっている。

1世帯当たり人員をみると、鶴見区が2.31人と最も多く、次いで大正区が2.08人、西淀川区、平野区及び阿倍野区が2.07人、東住吉区が2.06人と続いている。一方、最も少ない区は浪速区の1.42人であり、次いで中央区が1.54人、西成区が1.60人、北区が1.62人と続いている。

表5-1 区別世帯数

	世帯数（世帯）		対前年（令和元年）		1世帯当たり 人員（人）
	令和2年	令和元年	増減数（世帯）	増減率（%）	令和2年
大阪市	1,469,718	1,446,298	23,420	1.6	1.87
北区	85,785	83,224	2,561	3.1	1.62
都島区	56,944	56,081	863	1.5	1.89
福島区	42,631	41,453	1,178	2.8	1.86
此花区	32,318	31,918	400	1.3	2.02
中央区	67,139	64,644	2,495	3.9	1.54
西区	63,874	61,696	2,178	3.5	1.66
港区	42,612	42,122	490	1.2	1.90
大正区	29,859	29,871	△ 12	△ 0.0	2.08
天王寺区	42,163	41,221	942	2.3	1.95
浪速区	53,297	52,134	1,163	2.2	1.42
西淀川区	46,266	45,505	761	1.7	2.07
淀川区	104,193	101,959	2,234	2.2	1.76
東淀川区	99,699	98,311	1,388	1.4	1.78
東成区	45,487	44,531	956	2.1	1.87
生野区	67,616	67,322	294	0.4	1.88
旭区	45,303	44,775	528	1.2	1.98
城東区	82,712	81,695	1,017	1.2	2.04
鶴見区	48,884	48,205	679	1.4	2.31
阿倍野区	53,649	53,067	582	1.1	2.07
住之江区	59,913	59,424	489	0.8	2.00
住吉区	78,098	76,963	1,135	1.5	1.96
東住吉区	62,025	60,753	1,272	2.1	2.06
平野区	92,872	92,452	420	0.5	2.07
西成区	66,379	66,972	△ 593	△ 0.9	1.60

1 令和2年は国勢調査による世帯数。

2 令和元年は令和2年国勢調査結果により修正された10月1日現在の世帯数。

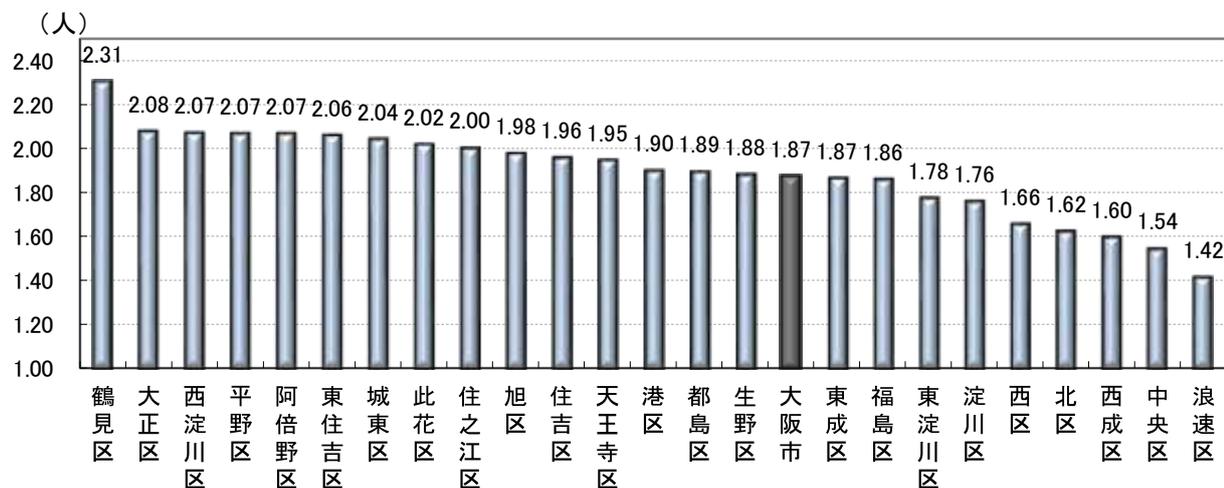
表5-2 世帯数及び1世帯当たり世帯人員（上位・下位5区）

世帯数（世帯）			
上位5区		下位5区	
淀川区	104,193	大正区	29,859
東淀川区	99,699	此花区	32,318
平野区	92,872	天王寺区	42,163
北区	85,785	港区	42,612
城東区	82,712	福島区	42,631

1世帯当たり世帯人員(人)			
上位5区		下位5区	
鶴見区	2.31	浪速区	1.42
大正区	2.08	中央区	1.54
西淀川区	2.07	西成区	1.60
平野区	2.07	北区	1.62
阿倍野区	2.07	西区	1.66

令和2年は国勢調査による世帯数。

図3 区別1世帯当たり世帯人員



令和2年国勢調査結果による。

6 人口異動（前年 10 月中から当年 9 月中の合計）

(1) 自然動態

令和 2 年の自然動態（出生と死亡の差）は 9414 人の減少となり、令和元年の自然動態（8853 人減）と比べると、減少幅は 561 人拡大した。また、自然増減率は 3.4‰減となっている。

自然増減数を区別にみると、西区が 411 人と最も多く、次いで中央区が 372 人、北区が 317 人、福島区が 283 人など 5 区で増加となっている一方、西成区が 2136 人減と最も少なく、次いで平野区が 1190 人減、生野区が 1074 人減、住之江区が 810 人減と続いている。

自然増減率では、西区が 4.0‰と最も高く、次いで中央区と福島区が 3.7‰、北区が 2.3‰と続いている一方、西成区が 19.9‰減と最も低く、次いで生野区が 8.4‰減、大正区が 8.0‰減と続いている。

ア 出生

令和 2 年の出生数は 2 万 1003 人で、令和元年（2 万 1315 人）と比べると 312 人の減少となり、出生率は 7.7‰（前年 7.8‰）となっている。

出生数を区別にみると、淀川区が 1454 人と最も多く、次いで城東区が 1452 人、北区が 1294 人、平野区が 1273 人と続いている。出生数が最も少ない区は大正区の 379 人となっている。

出生率では、福島区が 11.0‰と最も高く、次いで西区が 10.4‰、中央区が 10.0‰と続いている。最も低い区は西成区の 3.8‰となっている。

イ 死亡

令和 2 年の死亡数は 3 万 417 人で、令和元年（3 万 168 人）と比べると 249 人の増加となり、死亡率は前年と同じく 11.1‰となっている。

死亡数を区別にみると、西成区が 2547 人と最も多く、次いで平野区が 2463 人、生野区が 1895 人、東淀川区が 1792 人と続いている。死亡数が最も少ない区は福島区の 568 人である。

死亡率では、西成区が 23.8‰と最も高く、次いで生野区が 14.8‰、大正区が 14.0‰と続いている。最も低い区は中央区の 6.3‰となっている。

ウ 外国人の自然動態

令和 2 年の自然動態のうち、外国人は 194 人の減少となり、令和元年の自然動態（241 人減）と比べると、減少幅は 47 人縮少した。

外国人の出生数は 792 人で、令和元年（738 人）と比べると 54 人の増加となっており、死亡数は 986 人で、令和元年（979 人）と比べると 7 人の増加となっている。

表6-1 自然動態の推移

年次	自然増減			出生			死亡		
	増減数 (人)	対前年 (人)	自然 増減率 (%)	出生数 (人)	対前年 (人)	出生率 (%)	死亡数 (人)	対前年 (人)	死亡率 (%)
平成22年	△ 3,184	△ 1,481	△ 1.2	23,608	262	8.9	26,792	1,743	10.1
23年	△ 3,945	△ 761	△ 1.5	23,766	158	8.9	27,711	919	10.4
24年	△ 4,337	△ 392	△ 1.6	23,067	△ 699	8.6	27,404	△ 307	10.3
25年	△ 5,305	△ 968	△ 2.0	23,234	167	8.7	28,539	1,135	10.7
26年	△ 5,300	5	△ 2.0	22,810	△ 424	8.5	28,110	△ 429	10.5
27年	△ 5,742	△ 442	△ 2.1	22,972	162	8.6	28,714	604	10.7
28年	△ 5,530	212	△ 2.1	22,968	△ 4	8.5	28,498	△ 216	10.6
29年	△ 7,181	△ 1,651	△ 2.7	22,142	△ 826	8.2	29,323	825	10.9
30年	△ 8,280	△ 1,099	△ 3.1	21,905	△ 237	8.1	30,185	862	11.1
令和元年	△ 8,853	△ 573	△ 3.2	21,315	△ 590	7.8	30,168	△ 17	11.1
2年	△ 9,414	△ 561	△ 3.4	21,003	△ 312	7.7	30,417	249	11.1

- 1 自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。
- 2 自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で単位は‰(パーミル)である。
- 3 国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口異動の増減数と前述の人口推移の増減数とは一致しない。

表6-2 区別自然動態

区名	自然 増減数 (人)	自然 増減率 (%)	出生数 (人)	出生率 (%)	死亡数 (人)	死亡率 (%)
大 阪 市	△ 9,414	△ 3.4	21,003	7.7	30,417	11.1
北 区	317	2.3	1,294	9.5	977	7.2
都 島 区	△ 324	△ 3.0	769	7.1	1,093	10.1
福 島 区	283	3.7	851	11.0	568	7.3
此 花 区	△ 313	△ 4.8	456	7.0	769	11.7
中 央 区	372	3.7	1,007	10.0	635	6.3
西 区	411	4.0	1,078	10.4	667	6.4
港 区	△ 492	△ 6.1	543	6.7	1,035	12.8
大 正 区	△ 503	△ 8.0	379	6.0	882	14.0
天 王 寺 区	121	1.5	741	9.2	620	7.7
浪 速 区	△ 86	△ 1.2	587	7.9	673	9.0
西 淀 川 区	△ 338	△ 3.5	720	7.5	1,058	11.0
淀 川 区	△ 195	△ 1.1	1,454	8.0	1,649	9.1
東 淀 川 区	△ 520	△ 2.9	1,272	7.2	1,792	10.1
東 成 区	△ 282	△ 3.3	613	7.3	895	10.6
生 野 区	△ 1,074	△ 8.4	821	6.4	1,895	14.8
旭 区	△ 579	△ 6.4	602	6.7	1,181	13.1
城 東 区	△ 319	△ 1.9	1,452	8.6	1,771	10.5
鶴 見 区	△ 16	△ 0.1	1,013	9.0	1,029	9.2
阿 倍 野 区	△ 298	△ 2.7	842	7.6	1,140	10.3
住 之 江 区	△ 810	△ 6.7	737	6.1	1,547	12.8
住 吉 区	△ 642	△ 4.2	1,143	7.4	1,785	11.6
東 住 吉 区	△ 801	△ 6.3	945	7.4	1,746	13.8
平 野 区	△ 1,190	△ 6.1	1,273	6.6	2,463	12.7
西 成 区	△ 2,136	△ 19.9	411	3.8	2,547	23.8

- 1 自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。
- 2 自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰(パーミル)である。

表6-3 自然増減率、出生率及び死亡率（上位7区）

順位	自然増減率		出生率		死亡率	
	区名	(%)	区名	(%)	区名	(%)
1	西区	4.0	福島区	11.0	西成区	23.8
2	中央区	3.7	西区	10.4	生野区	14.8
3	福島区	3.7	中央区	10.0	大正区	14.0
4	北区	2.3	北区	9.5	東住吉区	13.8
5	天王寺区	1.5	天王寺区	9.2	旭区	13.1
6	鶴見区	△ 0.1	鶴見区	9.0	住之江区	12.8
7	淀川区	△ 1.1	城東区	8.6	港区	12.8

自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-4 自然動態の推移（外国人）

年次	自然増減		出生		死亡	
	増減数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)
平成22年	△ 473	△ 71	466	△ 10	939	61
23年	△ 502	△ 29	496	30	998	59
24年	△ 327	175	537	41	864	△ 134
25年	△ 415	△ 88	531	△ 6	946	82
26年	△ 366	49	574	43	940	△ 6
27年	△ 437	△ 71	539	△ 35	976	36
28年	△ 298	139	604	65	902	△ 74
29年	△ 279	19	644	40	923	21
30年	△ 353	△ 74	649	5	1,002	79
令和元年	△ 241	112	738	89	979	△ 23
2年	△ 194	47	792	54	986	7

自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。

（2）社会動態

令和2年の社会動態（転入と転出の差）は2万207人の増加となった。また、社会増減率は7.4%となっている。

社会増減数を区別にみると、中央区が2748人と最も多く、次いで北区が2582人、淀川区が1952人、東住吉区が1685人、西区が1667人など20区で増加となっている一方、平野区が545人減と最も少なく、次いで住之江区が214人減と続いている。

社会増減率では、中央区が27.3%と最も高く、次いで福島区が20.6%、北区が18.9%、西区が16.1%、西成区が14.2%など、市域中心部で高くなっている一方、平野区が2.8%減で最も低く、大正区が2.6%減と続いている。

ア 転入

令和2年の転入数は20万6128人で、転入率は75.2%となっている。

転入数を区別にみると、中央区が1万5842人と最も多く、次いで淀川区が1万5584人、北区が1万5169人、東淀川区が1万2383人、浪浪区が1万1828人と続いている。転入数が最も少ない区は大正区の2525人となっている。

転入率では、浪速区が158.5%と最も高く、次いで中央区が157.5%、西区が113.6%、北区が111.2%と続いている。転入率でも、大正区が40.2%と最も低くなっている。

イ 転出

令和2年の転出数は18万3567人で、転出率は67.0%となっている。

転出数を区別にみると、淀川区が1万3550人と最も多く、次いで中央区が1万3014人、北区が1万2395人、東淀川区が1万1243人と続く。転出数が最も少ない区は大正区の2659人となっている。

転出率では、浪速区が143.4%と最も高く、次いで中央区が129.4%、西区が97.5%、北区が90.8%と続いている。転出率でも、大正区が42.3%と最も低くなっている。

ウ その他増減

令和2年のその他増減数（実態調査や帰化等及び国籍喪失等による職権記載・消除者数）は、2354人減となった。

その他増減数を区別にみると、西成区で590人減と最も少なくなっている。

エ 外国人の社会動態

令和2年の社会動態のうち、外国人は1631人の減少となった。

外国人の転入及び入国数は3万2848人となっており、転出及び出国数は3万1087人で、令和元年と比べるといずれも減少となっている。

表6-5 社会動態の推移

年次	社会増減			転入			転出			その他増減	
	増減数 (人)	対前年 (人)	社会 増減率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)	転入率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)	転出率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)
平成22年	9,178	△ 2,126	3.5	177,693	△ 4,158	66.8	168,515	△ 2,032	63.4
23年	9,210	32	3.5	175,872	△ 1,821	66.0	166,662	△ 1,853	62.5
24年	11,133	1,923	4.2	175,509	△ 363	65.8	164,376	△ 2,286	61.6
25年	11,417	284	4.3	177,364	1,855	66.3	165,947	1,571	62.1
26年	8,059	△ 3,358	3.0	178,011	647	66.5	169,952	4,005	63.4
27年	18,726	10,667	7.0	185,808	7,797	69.3	167,082	△ 2,870	62.3
28年	16,378	△ 2,348	6.1	189,981	4,173	70.6	170,232	3,150	63.3	△ 3,371	...
29年	18,305	1,927	6.8	191,414	1,433	70.8	169,774	△ 458	62.8	△ 3,335	36
30年	20,129	1,824	7.4	199,003	7,589	73.3	175,657	5,883	64.7	△ 3,217	118
令和元年	24,049	3,920	8.8	211,083	12,080	77.4	184,095	8,438	67.5	△ 2,939	278
2年	20,207	△ 3,842	7.4	206,128	△ 4,955	75.2	183,567	△ 528	67.0	△ 2,354	585

1 社会増減数、転入数、転出数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

3 国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口異動の増減数と前述の人口推移の増減数とは一致しない。

表6-6 区別社会動態

区名	社会増減数 (人)	社会増減率 (%)	転入数 (人)	転入率 (%)	転出数 (人)	転出率 (%)	その他増減数 (人)
大阪市	20,207	7.4	206,128	75.2	183,567	67.0	△ 2,354
北区	2,582	18.9	15,169	111.2	12,395	90.8	△ 192
都島区	375	3.5	7,089	65.8	6,689	62.1	△ 25
福島区	1,594	20.6	7,345	94.8	5,684	73.4	△ 67
此花区	△ 45	△ 0.7	3,688	56.3	3,638	55.5	△ 95
中央区	2,748	27.3	15,842	157.5	13,014	129.4	△ 80
西区	1,667	16.1	11,765	113.6	10,103	97.5	5
港区	235	2.9	4,982	61.4	4,688	57.8	△ 59
大正区	△ 165	△ 2.6	2,525	40.2	2,659	42.3	△ 31
天王寺区	1,038	12.8	7,191	88.8	6,094	75.3	△ 59
浪速区	979	13.1	11,828	158.5	10,703	143.4	△ 146
西淀川区	403	4.2	5,887	61.4	5,376	56.1	△ 108
淀川区	1,952	10.7	15,584	85.7	13,550	74.6	△ 82
東淀川区	890	5.0	12,383	70.1	11,243	63.6	△ 250
東成区	713	8.5	7,781	92.3	7,015	83.2	△ 53
生野区	401	3.1	9,296	72.5	8,736	68.1	△ 159
旭区	532	5.9	5,226	58.1	4,616	51.3	△ 78
城東区	633	3.8	9,992	59.3	9,348	55.5	△ 11
鶴見区	280	2.5	5,304	47.3	5,023	44.8	△ 1
阿倍野区	724	6.5	7,262	65.7	6,408	58.0	△ 130
住之江区	△ 214	△ 1.8	5,385	44.5	5,574	46.1	△ 25
住吉区	219	1.4	8,383	54.6	8,159	53.2	△ 5
東住吉区	1,685	13.3	8,416	66.3	6,606	52.1	△ 125
平野区	△ 545	△ 2.8	8,768	45.2	9,325	48.1	12
西成区	1,526	14.2	9,037	84.4	6,921	64.6	△ 590

- 1 社会増減数、転入数、転出数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。
 2 社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-7 社会増減率、転入率及び転出率(上位7区)

順位	社会増減率		転入率		転出率	
	区名	(%)	区名	(%)	区名	(%)
1	中央区	27.3	浪速区	158.5	浪速区	143.4
2	福島区	20.6	中央区	157.5	中央区	129.4
3	北区	18.9	西区	113.6	西区	97.5
4	西区	16.1	北区	111.2	北区	90.8
5	西成区	14.2	福島区	94.8	東成区	83.2
6	東住吉区	13.3	東成区	92.3	天王寺区	75.3
7	浪速区	13.1	天王寺区	88.8	淀川区	74.6

社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-8 社会動態の推移(外国人)

年次	社会増減		転入+入国		転出+出国		その他増減	
	増減数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)
平成22年	1,345	△ 290	20,320	△ 288	18,975	2
23年	1,003	△ 342	21,205	885	20,202	1,227
24年	2,313	1,310	20,793	△ 412	18,480	△ 1,722
25年	2,617	304	20,889	96	18,272	△ 208
26年	861	△ 1,756	22,206	1,317	21,345	3,073
27年	6,438	5,577	25,517	3,311	19,079	△ 2,266
28年	5,095	△ 1,343	30,001	4,484	20,931	1,852	△ 3,975	...
29年	5,947	852	33,701	3,700	23,516	2,585	△ 4,238	△ 263
30年	6,485	538	37,208	3,507	27,150	3,634	△ 3,573	665
令和元年	7,611	1,126	42,917	5,709	31,803	4,653	△ 3,503	70
2年	△ 1,631	△ 9,242	32,848	△ 10,069	31,087	△ 716	△ 3,392	111

社会増減数、転入+入国数、転出+出国数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。

7 年齢別人口

(1) 年齢(3区分)別人口

令和2年の人口について年齢(3区分)別割合をみると、0～14歳人口(年少人口)は10.6%、15～64歳人口(生産年齢人口)は63.7%、65歳以上人口(老年人口)は25.7%となっており、65歳以上人口の割合が、令和元年(25.6%)と比べて上昇している。

表7-1 年齢(3区分)別人口

年次	人口(人)					割合(%)				
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち
					75歳以上					75歳以上
平成27年	2,691,185	296,336	1,713,039	681,810	324,157	100.0	11.0	63.7	25.3	12.0
28年	2,702,316	295,423	1,721,169	685,724	334,086	100.0	10.9	63.7	25.4	12.4
29年	2,713,725	294,372	1,728,917	690,436	344,371	100.0	10.8	63.7	25.4	12.7
30年	2,725,855	293,281	1,736,951	695,623	354,860	100.0	10.8	63.7	25.5	13.1
令和元年	2,741,336	292,460	1,746,987	701,889	365,870	100.0	10.7	63.7	25.6	13.3
令和2年	2,752,412	291,039	1,753,884	707,489	376,454	100.0	10.6	63.7	25.7	13.7

1 平成27年は年齢「不詳」を各歳に案分した国勢調査結果。

2 平成28年から令和元年は1の年齢「不詳」を各歳に案分した国勢調査結果をもとに作成した各年10月1日の推計人口

3 令和2年は年齢「不詳」を補完している国勢調査結果。

(2) 区別の年齢(3区分)別人口

区別の年齢(3区分)別人口を令和元年と比べると、年少人口の増加が最も大きいのは北区の468人で、最も減少が大きいのは平野区の756人減となった。生産年齢人口の増加では、中央区の2392人が最も多く、最も減少が大きかったのは住之江区の1118人減であった。老年人口の増加では、東淀川区の552人が最も多く、最も減少が大きかったのは生野区173人減であった。

表7-2 区別の年齢(3区分)別人口

区名	(人)				(人)			令和元年			
	令和2年				令和元年からの増減数			総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上				
大阪市	2,752,412	291,039	1,753,884	707,489	△ 1,421	6,897	5,600	2,741,336	292,460	1,746,987	701,889
北区	139,376	12,933	101,101	25,342	468	2,151	317	136,440	12,465	98,950	25,025
都島区	107,904	11,855	69,410	26,639	△ 87	△ 42	265	107,768	11,942	69,452	26,374
福島区	79,328	9,680	54,540	15,108	289	1,322	229	77,488	9,391	53,218	14,879
此花区	65,251	7,368	39,458	18,425	△ 111	△ 371	201	65,532	7,479	39,829	18,224
中央区	103,726	9,641	78,030	16,055	447	2,392	290	100,597	9,194	75,638	15,765
西区	105,862	12,132	77,541	16,189	335	1,751	202	103,574	11,797	75,790	15,987
港区	80,948	8,285	50,119	22,544	△ 113	△ 125	71	81,115	8,398	50,244	22,473
大正区	62,083	6,299	35,753	20,031	△ 211	△ 561	66	62,789	6,510	36,314	19,965
天王寺区	82,148	11,074	54,919	16,155	292	699	206	80,951	10,782	54,220	15,949
浪速区	75,504	5,215	56,475	13,814	95	742	33	74,634	5,120	55,733	13,781
西淀川区	95,864	10,844	60,194	24,826	△ 319	55	276	95,852	11,163	60,139	24,550
淀川区	183,444	17,948	123,760	41,736	△ 54	1,380	372	181,746	18,002	122,380	41,364
東淀川区	177,120	16,714	116,016	44,390	△ 333	143	552	176,758	17,047	115,873	43,838
東成区	84,906	8,574	54,578	21,754	△ 90	561	156	84,279	8,664	54,017	21,598
生野区	127,309	11,108	75,692	40,509	△ 234	△ 572	△ 173	128,288	11,342	76,264	40,682
旭区	89,670	9,299	53,270	27,101	△ 51	△ 330	112	89,939	9,350	53,600	26,989
城東区	169,043	20,361	105,372	43,310	△ 97	281	313	168,546	20,458	105,091	42,997
鶴見区	112,691	16,544	70,121	26,026	△ 151	186	419	112,237	16,695	69,935	25,607
阿倍野区	110,995	14,065	68,143	28,787	106	111	231	110,547	13,959	68,032	28,556
住之江区	120,072	12,539	69,972	37,561	△ 248	△ 1,118	444	120,994	12,787	71,090	37,117
住吉区	153,056	16,463	92,480	44,113	△ 405	△ 426	421	153,466	16,868	92,906	43,692
東住吉区	127,849	14,103	75,781	37,965	△ 3	503	465	126,884	14,106	75,278	37,500
平野区	192,152	21,068	114,774	56,310	△ 756	△ 1,115	233	193,790	21,824	115,889	56,077
西成区	106,111	6,927	56,385	42,799	△ 190	△ 720	△ 101	107,122	7,117	57,105	42,900

1 令和元年は10月1日の推計人口現在の推計人口。年齢「不詳」は各歳に案分している。

2 令和2年は年齢「不詳」を補完している国勢調査結果。

区別の年齢（3区分）別人口の割合をみると、年少人口では鶴見区が14.7%と最も高く、次いで天王寺区が13.5%、阿倍野区が12.7%と続く。最も低いのは西成区の6.5%となっている。

生産年齢人口では中央区が75.2%と最も高く、次いで浪速区が74.8%と続く。最も低いのは西成区の53.1%となっている。

老年人口では西成区が40.3%と最も高く、次いで大正区が32.3%と続く。最も低いのは西区の15.3%となっている。

表7-3 区別の年齢（3区分）別人口割合

区名	（%）			（ポイント）			（%）				
	令和2年			令和元年からの変化			令和元年				
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
大阪市	100.0	10.6	63.7	25.7	△ 0.09	△ 0.01	0.10	100.0	10.7	63.7	25.6
北区	100.0	9.3	72.5	18.2	0.14	0.02	△ 0.16	100.0	9.1	72.5	18.3
都島区	100.0	11.0	64.3	24.7	△ 0.09	△ 0.12	0.21	100.0	11.1	64.4	24.5
福島区	100.0	12.2	68.8	19.0	0.08	0.07	△ 0.16	100.0	12.1	68.7	19.2
此花区	100.0	11.3	60.5	28.2	△ 0.12	△ 0.31	0.43	100.0	11.4	60.8	27.8
中央区	100.0	9.3	75.2	15.5	0.16	0.04	△ 0.19	100.0	9.1	75.2	15.7
西区	100.0	11.5	73.2	15.3	0.07	0.07	△ 0.14	100.0	11.4	73.2	15.4
港区	100.0	10.2	61.9	27.8	△ 0.12	△ 0.03	0.14	100.0	10.4	61.9	27.7
大正区	100.0	10.1	57.6	32.3	△ 0.22	△ 0.25	0.47	100.0	10.4	57.8	31.8
天王寺区	100.0	13.5	66.9	19.7	0.16	△ 0.13	△ 0.04	100.0	13.3	67.0	19.7
浪速区	100.0	6.9	74.8	18.3	0.05	0.12	△ 0.17	100.0	6.9	74.7	18.5
西淀川区	100.0	11.3	62.8	25.9	△ 0.33	0.05	0.28	100.0	11.6	62.7	25.6
淀川区	100.0	9.8	67.5	22.8	△ 0.12	0.13	△ 0.01	100.0	9.9	67.3	22.8
東淀川区	100.0	9.4	65.5	25.1	△ 0.21	△ 0.05	0.26	100.0	9.6	65.6	24.8
東成区	100.0	10.1	64.3	25.6	△ 0.18	0.19	△ 0.01	100.0	10.3	64.1	25.6
生野区	100.0	8.7	59.5	31.8	△ 0.12	0.01	0.11	100.0	8.8	59.4	31.7
旭区	100.0	10.4	59.4	30.2	△ 0.03	△ 0.19	0.21	100.0	10.4	59.6	30.0
城東区	100.0	12.0	62.3	25.6	△ 0.09	△ 0.02	0.11	100.0	12.1	62.4	25.5
鶴見区	100.0	14.7	62.2	23.1	△ 0.19	△ 0.09	0.28	100.0	14.9	62.3	22.8
阿倍野区	100.0	12.7	61.4	25.9	0.04	△ 0.15	0.10	100.0	12.6	61.5	25.8
住之江区	100.0	10.4	58.3	31.3	△ 0.13	△ 0.48	0.61	100.0	10.6	58.8	30.7
住吉区	100.0	10.8	60.4	28.8	△ 0.24	△ 0.12	0.35	100.0	11.0	60.5	28.5
東住吉区	100.0	11.0	59.3	29.7	△ 0.09	△ 0.05	0.14	100.0	11.1	59.3	29.6
平野区	100.0	11.0	59.7	29.3	△ 0.30	△ 0.07	0.37	100.0	11.3	59.8	28.9
西成区	100.0	6.5	53.1	40.3	△ 0.12	△ 0.17	0.29	100.0	6.6	53.3	40.0

表7-4 年齢（3区分）別人口割合（上位7区）

順位	0～14歳		15歳～64歳		65歳以上	
	区名	割合（%）	区名	割合（%）	区名	割合（%）
1	鶴見区	14.7	中央区	75.2	西成区	40.3
2	天王寺区	13.5	浪速区	74.8	大正区	32.3
3	阿倍野区	12.7	西区	73.2	生野区	31.8
4	福島区	12.2	北区	72.5	住之江区	31.3
5	城東区	12.0	福島区	68.8	旭区	30.2
6	西区	11.5	淀川区	67.5	東住吉区	29.7
7	西淀川区	11.3	天王寺区	66.9	平野区	29.3

年齢「不詳」を補完している令和2年国勢調査結果における人口に対する割合である。

表7-5 年齢（3区分）別人口割合の変化（上位7区）

順位	0～14歳		15歳～64歳		65歳以上	
	区名	変化（ポイント）	区名	変化（ポイント）	区名	変化（ポイント）
1	天王寺区	0.16	東成区	0.19	住之江区	0.61
2	中央区	0.16	淀川区	0.13	大正区	0.47
3	北区	0.14	浪速区	0.12	此花区	0.43
4	福島区	0.08	福島区	0.07	平野区	0.37
5	西区	0.07	西区	0.07	住吉区	0.35
6	浪速区	0.05	西淀川区	0.05	西成区	0.29
7	阿倍野区	0.04	中央区	0.04	西淀川区	0.28

令和元年10月1日現在の人口割合に対する令和2年国勢調査結果（年齢「不詳」補完）における人口割合の変化である。

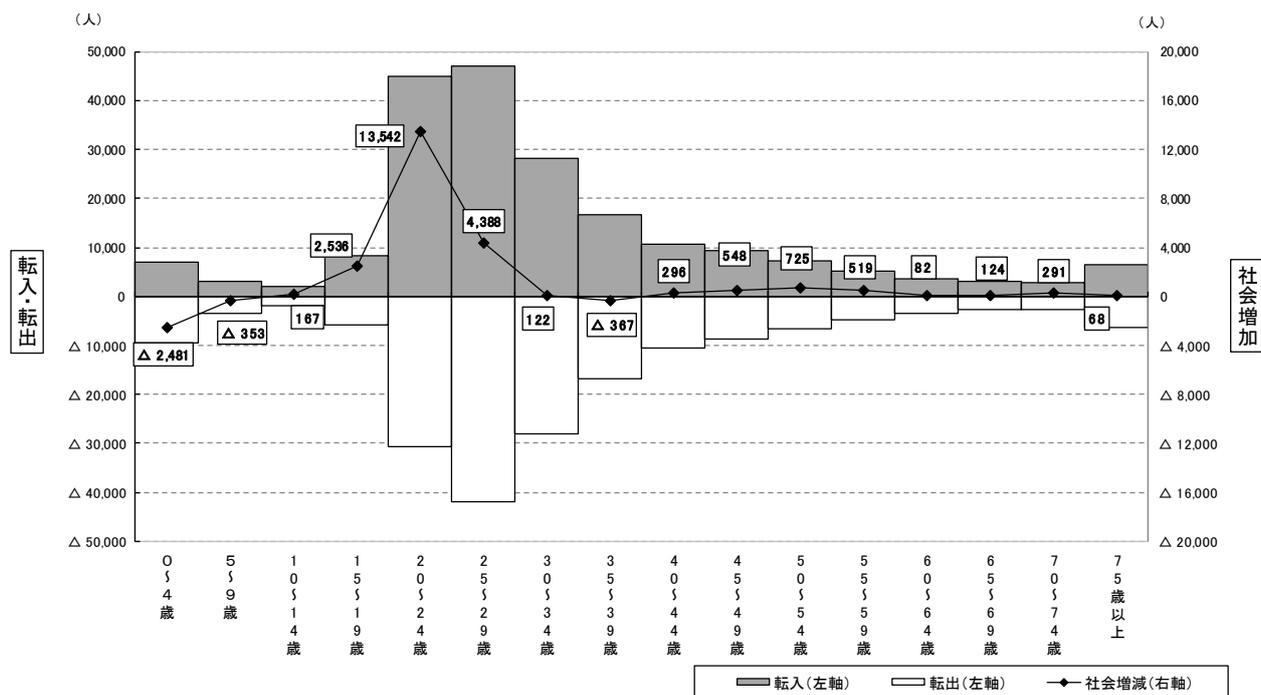
(3) 年齢（5歳階級）別社会動態

令和2年の社会増減を年齢（5歳階級）別にみると、15歳から29歳までの各階級で大きな増加となっており、特に「20～24歳」では1万3542人となっている。これに対して、30歳から39歳及び0歳から9歳までの各階級（世帯形成層・育児層及びその子どもの層）では減少となっている。

表7-6 年齢（5歳階級）別転入、転出、その他増減及び社会増減数

	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
転入	7,041	3,066	1,947	8,435	45,007	47,070	28,361	16,630
転出	9,486	3,396	1,769	5,890	30,760	42,005	27,968	16,864
その他増減	△ 36	△ 23	△ 11	△ 9	△ 705	△ 677	△ 271	△ 133
社会増減	△ 2,481	△ 353	167	2,536	13,542	4,388	122	△ 367
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
転入	10,816	9,278	7,344	5,275	3,621	2,983	2,867	6,387
転出	10,436	8,648	6,547	4,718	3,486	2,745	2,557	6,292
その他増減	△ 84	△ 82	△ 72	△ 38	△ 53	△ 114	△ 19	△ 27
社会増減	296	548	725	519	82	124	291	68

図4 年齢（5歳階級）別社会動態



(4) 区別の年齢(5歳階級)別社会動態

区別の社会増減を年齢(5歳階級)別にみると、(3)で増加と述べた15歳から29歳までの各階級合計を区別で見ると淀川区が2633人と最も多く、次いで中央区が2611人、北区が2501人、浪速区が1967人と続いている。(3)で減少と述べた0歳から9歳までの各階級合計を区別で見ると淀川区が382人減と最も減少が大きく、次いで浪速区が365人減、北区が336人減、東淀川区が320人減、西区が219人減と続いている。

表7-7 区別の年齢(5歳階級)別社会増減数

区名	(人)							
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
大阪市	△ 2,481	△ 353	167	2,536	13,542	4,388	122	△ 367
北区	△ 296	△ 40	27	220	1,380	901	67	35
都島区	△ 111	△ 6	4	40	577	88	△ 19	△ 96
福島区	△ 27	32	27	62	731	390	48	86
此花区	△ 51	△ 57	△ 12	111	157	18	△ 15	△ 86
中央区	△ 223	13	23	197	1,721	693	149	30
西区	△ 195	△ 24	4	119	1,397	425	75	△ 37
港区	△ 46	△ 29	3	82	441	△ 26	△ 60	△ 24
大正区	△ 10	4	△ 7	26	69	△ 82	△ 58	△ 30
天王寺区	32	38	36	46	279	120	142	98
浪速区	△ 290	△ 75	△ 3	273	1,404	290	△ 303	△ 165
西淀川区	△ 103	△ 18	△ 27	26	423	107	△ 42	23
淀川区	△ 276	△ 106	3	215	1,967	451	△ 35	△ 18
東淀川区	△ 273	△ 47	10	370	1,100	△ 14	△ 212	△ 173
東成区	△ 74	20	12	29	579	180	△ 39	△ 52
生野区	△ 70	△ 12	17	176	252	△ 7	△ 38	△ 61
旭区	△ 26	△ 12	△ 5	101	145	64	56	37
城東区	△ 139	△ 33	16	74	320	286	165	△ 50
鶴見区	△ 117	△ 12	9	△ 23	30	188	154	3
阿倍野区	55	75	4	101	68	110	144	119
住之江区	△ 78	△ 34	15	47	△ 56	△ 78	△ 42	△ 52
住吉区	△ 70	△ 28	16	103	123	44	△ 92	△ 33
東住吉区	121	64	28	95	259	323	164	144
平野区	△ 170	△ 29	△ 42	△ 13	△ 134	△ 65	△ 94	△ 121
西成区	△ 44	△ 37	9	59	310	△ 18	7	56
区名	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
大阪市	296	548	725	519	82	124	291	68
北区	71	68	108	73	27	△ 40	△ 26	7
都島区	10	△ 19	15	△ 29	△ 27	8	△ 31	△ 29
福島区	45	56	62	46	23	△ 2	△ 7	22
此花区	9	3	17	7	△ 16	△ 20	△ 26	△ 84
中央区	99	67	36	42	△ 33	△ 17	2	△ 51
西区	△ 56	△ 1	△ 33	16	△ 11	△ 14	△ 3	5
港区	△ 45	12	24	△ 5	△ 21	△ 33	△ 15	△ 23
大正区	△ 2	△ 2	10	△ 10	△ 4	△ 24	0	△ 45
天王寺区	112	74	2	△ 17	4	18	15	39
浪速区	△ 97	△ 17	△ 13	△ 22	△ 33	11	8	11
西淀川区	4	△ 30	10	0	△ 39	2	11	56
淀川区	△ 83	31	21	△ 10	△ 20	△ 28	△ 25	△ 135
東淀川区	△ 25	28	△ 3	30	16	8	33	42
東成区	26	10	3	19	△ 20	4	1	15
生野区	28	0	43	53	7	△ 20	△ 8	41
旭区	36	41	14	22	18	6	38	△ 3
城東区	△ 8	24	58	9	△ 7	△ 19	13	△ 76
鶴見区	△ 27	11	△ 11	△ 9	△ 6	13	14	63
阿倍野区	93	38	18	14	△ 12	△ 15	△ 35	△ 53
住之江区	△ 12	3	△ 4	25	△ 8	△ 26	44	42
住吉区	21	24	62	34	△ 2	24	15	△ 22
東住吉区	67	62	69	41	43	47	29	129
平野区	△ 42	△ 82	32	10	7	39	69	90
西成区	72	147	185	180	196	202	175	27